

日本の“いい川”シンポジウム

平成18年(2006年)秋、これからの日本の川づくりの基本ともいべき「多自然川づくり」の指針が示されました。河川全体をいかに良くしていくかの視点を持ち、地域の暮らしや文化、川が本来有している生きものの環境、多様で美しい河川風景を保全、創出することを目的とし、市民と行政が連携した川づくりを始めようとするものです。

これを受けて、これからの推進方策や協働のあり方などを考えるためのシンポジウムを、産官学野が参加をする形で開催してきました。

総論から実践のための各論まで、計6回に亘って、各回のテーマを設定して行いました。

(全国水環境交流会は、主催者である多自然川づくり技術普及研究会、日本の“いい川”シンポジウム実行委員会の事務局として運営を担いました。)

これまでのシンポジウムのテーマは、以下のとおりです。

(各回の詳細については、添付の開催チラシPDFもご参照ください。)

	開催テーマ	開催年月
第1回	日本の“いい川”シンポジウム 日本の川が変わる ～多自然川づくりの新たなる挑戦～	2007年 2月
第2回	日本の“いい川”シンポジウム ～多自然川づくりの手法～	2008年 2月
第3回	日本の“いい川”シンポジウム ～多自然川づくりの実践に向けて～	2009年 2月
第4回	日本の“いい川”シンポジウム ～都市河川の多自然川づくり～	2010年 1月
第5回	日本の“いい川”シンポジウム ～住民との協働による多自然川づくりの実践～	2011年 2月
第6回	日本の“いい川”シンポジウム ～川の営みを活かした川づくり～	2012年 3月